

第 3 回 中心市街地復興まちづくり推進委員会

中心市街地復興まちづくり推進委員会
第 3 回

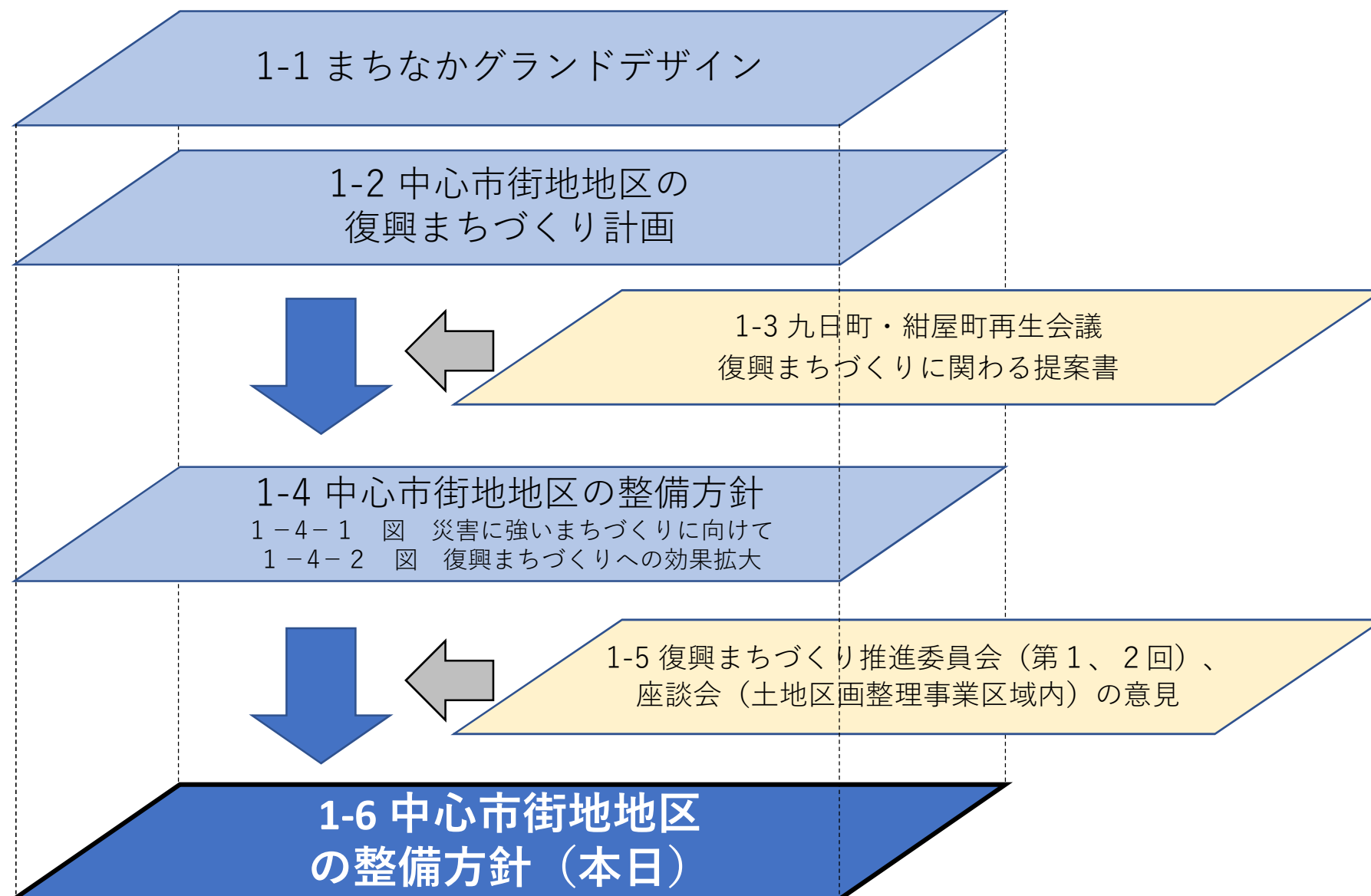
整備方針について

令和 4 年 1 1 月 2 日（水） 1 8 時～
人 吉 市

1 中心市街地地区の整備方針について

1

1-0 整備方針の検討経緯



1 - 2 中心市街地地区の復興まちづくり計画

3

中心市街地地区全体の将来像

清流球磨川と人吉らしい歴史・文化とともに、若い力と賑わいに満ち
お年寄りから子どもまで安心して暮らせるまちなか

これまでの地区別懇談会で中心市街地地区の復興まちづくりに対するご意見をまとめたものです。
具体的取組みは決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

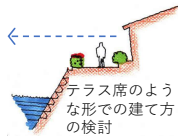
復興未来の杜エリア

- 青井の杜（古代中世/青井阿蘇神社周辺）
 - 城址の杜（中世近世/城址公園周辺）
 - 復興未来の杜（現在から未来/紺屋町、九日町等周辺）
- 3つの杜がグリーンインフラとなり回遊を
促し環境共生型都市として未来型復興を図る

賑わい・観光・交流拠点の形成



川沿いの回遊を促す
足湯のイメージ



テラス席のような
形での建て方
の検討



復興型商店街の再生の
イメージ



ひかりの復興計画による
夜間景観のイメージ



歴史的建物の在り方の
検討



1階にUターン、被災商店
主向け店舗、2・3階に住居
やシェアハウスのイメージ

まちの玄関口としての景観形成



道路、建物が一体となった
沿道景観形成のイメージ

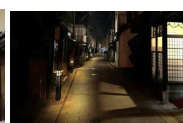
歴史的な町並みの形成



歴史的建物を活かした
町並み形成



鍛冶屋町の町並み形成



ひかりの復興計画による
夜間景観イメージ

生業・生活支援拠点の形成



コンテナマルシェ



子育て世代支援+生活広場



石蔵の活用イメージ

雨水浸透緑地帯の導入

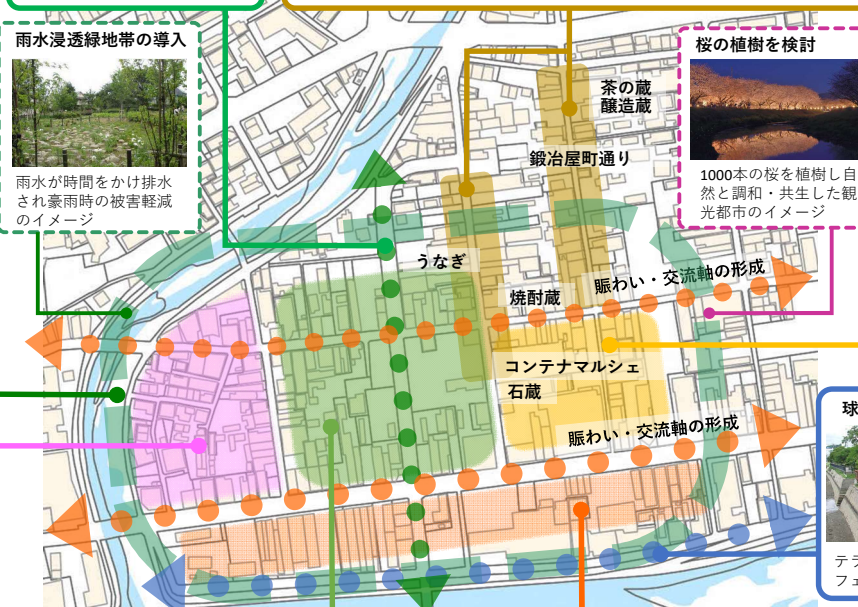


雨水が時間をかけ排水
され豪雨時の被害軽減
のイメージ

桜の植樹を検討



1000本の桜を植樹し自然と調和・共生した観
光都市のイメージ



球磨川プロムナード軸の形成



テラス型のオープンカ
フェ等を検討



石垣等自然素材の検討

交流・文化・まちなか居住拠点の形成



地場産材を使用した災害公営住宅
のイメージ



敷地内を通り抜けること
ができる分棟型文化交流
施設のイメージ



中心市街地の新たな拠点となる
緑豊かな図書館等のイメージ



まちなかのポケット
パークのイメージ

癒やし・寛ぎ・宿泊拠点の形成



球磨川沿いの老舗ホテル・旅館を中心とした
滞在型の癒やし・寛ぎ拠点を形成



温泉巡り、魅力的な商店などの湯上がり散策

1-3 九日町・紺屋町再生会議 復興まちづくりに関わる提案書

4

令和3年10月12日（火） 現在

九日町・紺屋町再生会議 復興まちづくりに関わる提案書

（注）この紙面の内容は、九日町・紺屋町再生会議の参加者による意見をまとめたものであり、決定事項ではありません。

1. 目指すまちの将来像

『清流球磨川と人吉らしい歴史・文化とともに、若い力と賑わいに満ち、お年寄りから子どもまで安心して暮らせるまちなか』

2. 目指すまちの5つの柱

（1）安全に暮らせるまち

- ・災害時に避難が出来るまち
（垂直避難ができるビルの確保等）
- ・安全な住まいがあるまち
（災害公営住宅の確保等）
- ・浸水リスクに対応したまち
（浸水リスクに対応した建て方の工夫の検討等）

（2）人が行き交い商いの成り立つまち

- ・新規業種参入の受け皿があるまち
- ・帰ってきて生業を再開する際に中心となるまち
- ・人が暮らし持続可能な賑わいがあるまち
- ・ハードソフトでお金がまわるまち

（3）多様な世代・人が支え合うまち

- ・若い人が商いのチャレンジができるまち
- ・子育て世代を地区全体で支えるまち
- ・外部の人も異業種の人も受け入れるまち

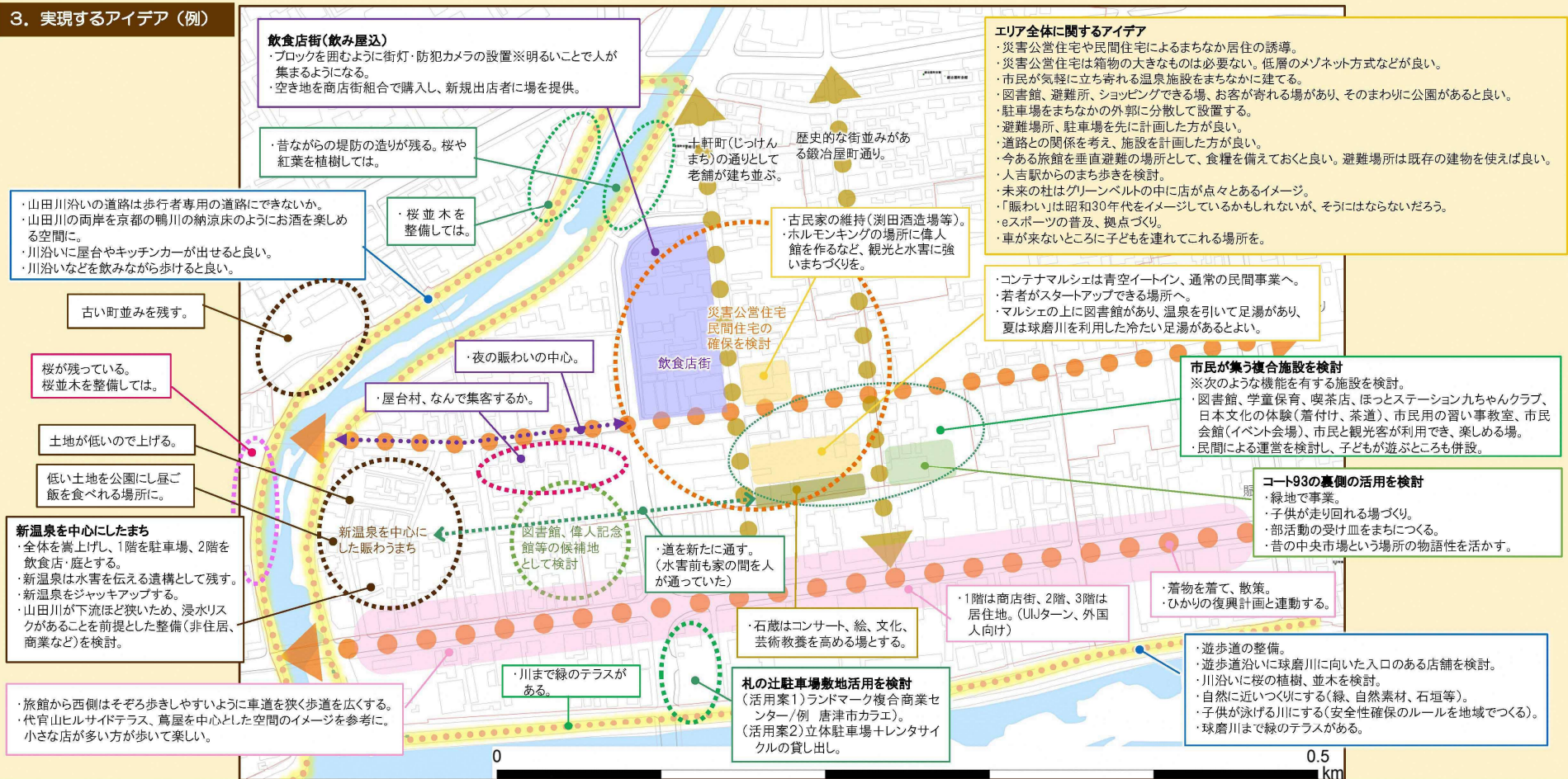
（4）様々な交流が生まれるまち

- ・向こう三軒両隣でお話ができるコミュニティがあるまち
- ・歴史・文化等の体験の場があるまち（図書館、偉人館等）
- ・川が交流の場となるまち（散歩、飲食、川遊び等）

（5）人吉らしい風景を大切にすまち

- ・自然と一体感のあるまち（盆地、川）
- ・小京都の街並みを大切にするまち（城下町、青井阿蘇神社等）
- ・温泉文化を大切にすまち（公衆浴場、浴衣でそぞろ歩き等）

3. 実現するアイデア（例）



課題	中心市街地地区 の課題	【防災】 ● 避難路・避難地の確保 ● 未接道敷地の解消 ● 住宅地の安全性向上	【賑わい】 ● 中心市街地の 活性化、産業 の活性化
	水害対策上 の課題	● 流域治水プロジェクトの取組みと早期再建・復興との整合性 ● 災害に強いまちづくりの推進	

整備方針(整備すべき主な機能)

災害に強いまちづくりに向けて

- 指定避難所へのスムーズな避難を実現する骨格道路を含む避難ルート整備
- 災害時の一時避難場所となる公園などの避難地の確保
- 垂直避難できる建築物の立地誘導・指定拡大
- 河川堤防の強化、円滑な水防活動への支援

復興まちづくりへの効果拡大

- 沿道建築物と連携した良好な道路空間の整備等による地区内のにぎわい創出と、他地区とをつなぐ高い回遊性の確保
- 公園・広場の整備による良好な住環境の確保と既存施設（コンテナマルシェ等）とのイベント実施等によるにぎわい創設
- 山田川との連携強化による親水性の向上、良好な河川空間の確保を図る

中心市街地地区の復興まちづくりの基本的な考え方(コンセプト)

① 避難路・避難地等の整備による災害に強いまちの実現

② 地権者等の意向を踏まえた生活再建と復興の実現

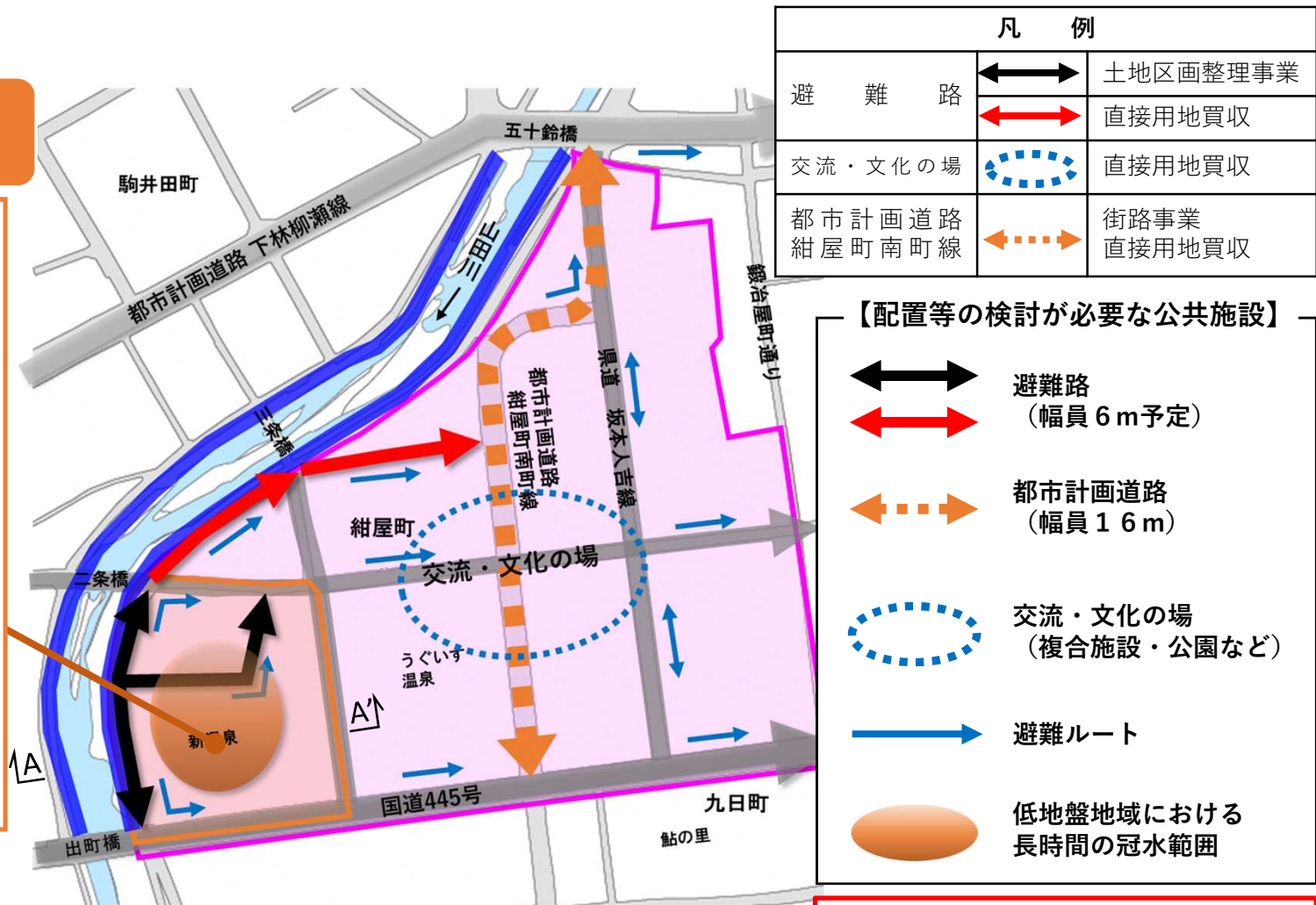
③ 良好な住環境やにぎわい創出等将来ビジョンの実現

避難路・避難地の確保
住宅地の安全性の向上
(堤防の強化・低地の地盤高調整)

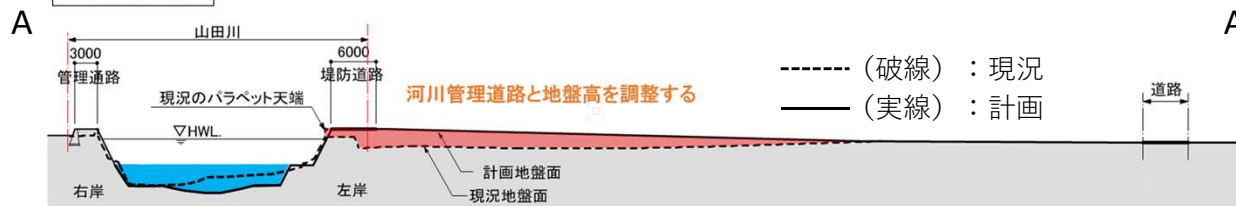
狭あい道路・行き止まり道路による
避難路機能不足による防災機能不足



豪雨に対応できなかった堤防
低地盤地域における長時間の冠水

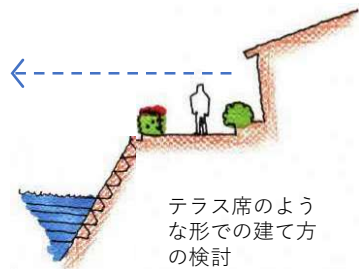


整備イメージ (A-A' 断面)

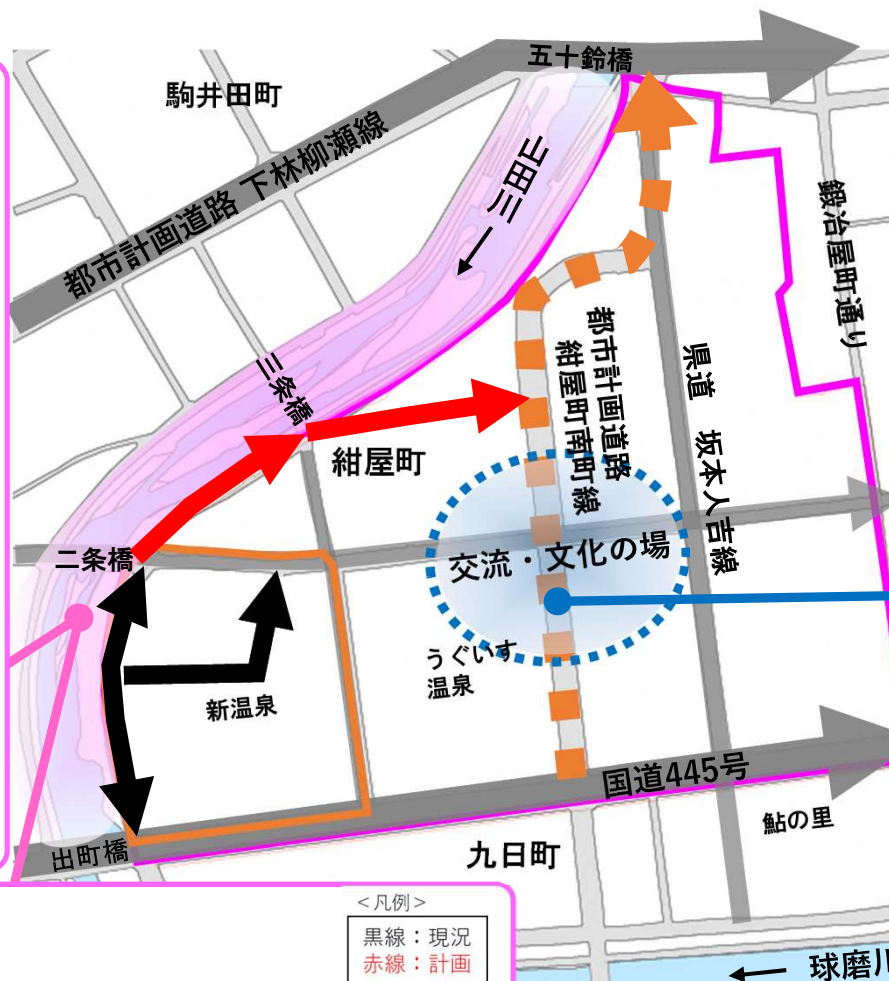


公共施設等の配置は現時点の案であり、中心市街地復興まちづくり推進協議会のご意見等を踏まえ変更する可能性があります。

賑わい・観光・交流拠点の形成



ひかりの復興計画による夜間景観のイメージ



中心市街地の活性化
(魅力・求心力の向上)

空地や低未利用地が散在

人吉市検証実験の例



公園やオープンスペースの整備による
一時避難地の確保、にぎわい創出



兵庫県神戸市の例

山田川堤防強化の方針

川へのアクセスを確保する

まちづくりと一体となった整備

継続的に土砂撤去を行うための通路を整備
(平常時は散策も可能)

堤防の幅を確保し、構造を強化
避難路、水防活動の場として活用

街並み・景観に配慮した石積み

土砂堆積を軽減させるための横断形状の工夫

※今後、調査・設計等により詳細が変更となる可能性があります。

<凡例>

黒線：現況
赤線：計画

交流・文化・まちなか居住拠点の形成



中心市街地の新たな拠点となる
緑豊かな図書館等のイメージ



まちなかのポケット
パークのイメージ

【A】 目指すまちの姿

- 商売が繁盛し人が集まるまちづくり。
- 賑わい交流軸・拠点の形成/A-1
- お店も大事だが、住める、建て替えられることが大切。
- 未接道敷地・狭あい道路の解消/A-2
- 城下町、温泉町の良さを生かしたい。
- 歴史・文化の軸・拠点の形成/A-3
- 次の世代に残せるまち。人が帰ってくるまち。
- 高校生、中学生が、歩けるまちなか、賑わいづくりができれば良い。
- 若い世代も魅力を感じるまちなかの形成/A-4

【C】 賑わい創出

- まちに賑わいを戻すためには、もうひとひねり、工夫が必要。
- 交流・文化の場の確保に加え、賑わいを生むプロセスやプレイヤーの確保/C-1
- 住む、働く（商売する）、学ぶ、楽しむを混在させる中心市街地の土地利用が必要。
- 人口減少を踏まえたまちづくり/C-2
- 社会実験でつくる風景を現実のものにしていく必要がある。
- 未利用地などを活用（緑道、広場など）し、東西方向へ賑わい動線をつなげていく/C-3

【B】 防災まちづくり

- 治水完了までのまちの価値を維持・向上する必要がある。
- 球磨川の治水対策完了までの安全性確保/B-1
- 水害、火事時に消防車等が通れる道路が必要。
- 幅員6mの道路整備/B-2
- 命を守るための嵩上げなら良い。
- 地域の安全性向上に資する嵩上げ/B-3
- 泉田川の排水機能をしっかり確保する。
- 浸水抑制のための排水機能確保/B-4
- 高齢者が多く身近な所に垂直避難場所が必要。
- 垂直避難できる建物の指定拡大/B-5

【D】 まちの担い手確保

- 商売している人たちのつながり、まちとして全体を盛り上げる意思が大切。
- 地域の一体感の醸成/D-1
- 水害リスクがある中でも商売をしていきたい、戻ってきたいと思う人をどれだけ創出することができるかが街づくりの中で一番大事。
- 水害リスクと共生する街づくり/D-2
- 人口を増やしまちを盛り上げることが、社会実験の目的であるなら、そこに住む人や事業者が出店しやすくすることが大切。
- 社会実験の検証、見直しによる質の向上/D-3

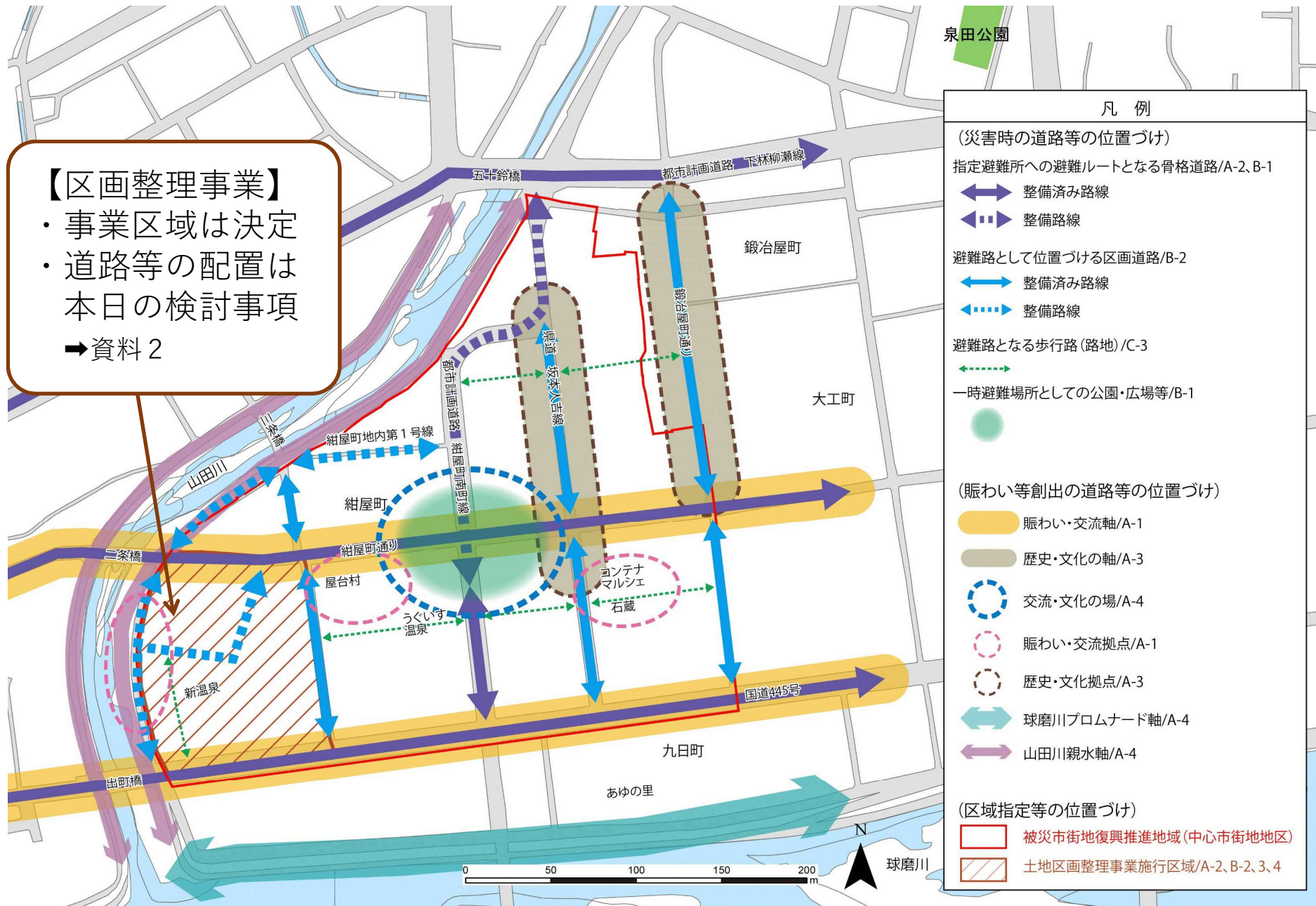
※「○：委員会及び座談会参加者の意見」、「→：意見への対策」

1 - 6 中心市街地地区整備方針（再整理）

9

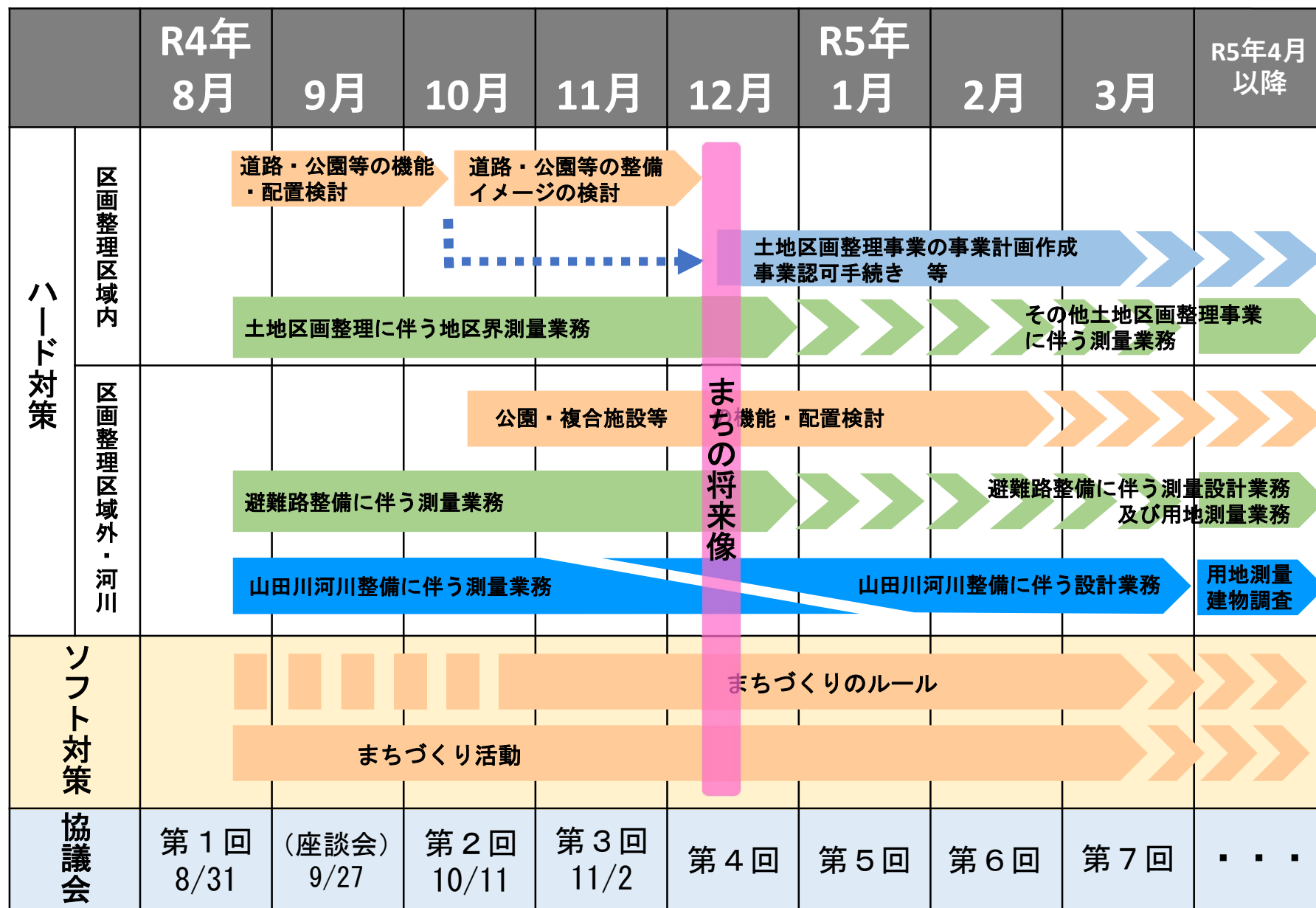
【区画整理事業】

- ・事業区域は決定
 - ・道路等の配置は
本日の検討事項
- 資料2



1-7 会の進め方（案）

10



※現時点での予定であり、検討状況などにより回数の増加も想定されます。